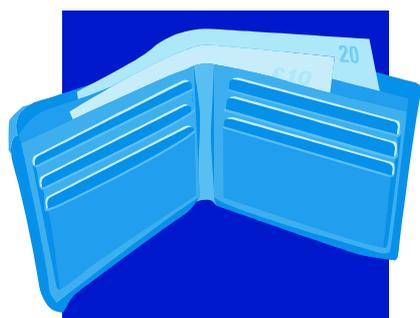


いしかりの家計簿

A Housekeeping Book of Ishikari City



石狩市

1 はじめに

石狩市では、広報を利用して財政状況を市民の皆さんに公表しているほか、市の財政を家庭の家計に置き換えた「いしかりの家計簿」を発行しています。

市の財政は、収入の柱である「市税」が平成11年度をピークに減少している一方、支出では福祉のための「扶助費」が増加しているため、道路や公園の整備のための「建設事業費」を減少せざるを得ない状況です。これを家計に例えるなら、給料は下がり続けているのに、教育費・医療費などの支出は増えているため、テレビの購入にお金を回せない、といったことになるでしょうか。

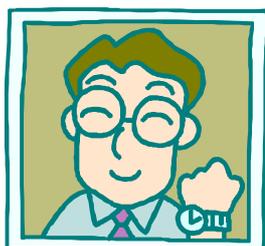
そこで、市では収入に見合った支出に転換するべく財政構造改革を進め、経費の節約や仕事の効率化に努めるとともに、これまで続けてきた制度の見直しや建設事業の抑制も行いながら、限られたお金でできるだけ多くの成果があがるように努めているところです。

しかし、今後の少子高齢時代における様々な行政需要に対処していくためには、市民の皆さんのご理解とご協力が必要不可欠です。そのためにも、多くの市民の皆さんにこの「いしかりの家計簿」をご覧いただき、非常に厳しい市の財政状況を知っていただきたいと思います。

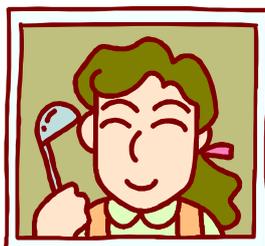
なお、この「いしかりの家計簿」は、旧石狩市の平成16年度決算額をもとに作成しています（平成17年10月1日に旧石狩市・旧厚田村・旧浜益村が合併し、新石狩市となりました）。

2 家族構成

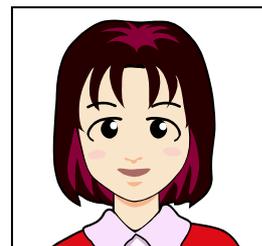
ここでは、市の財政をあるご家庭の家計に例えてご説明いたします。なお、その家庭は、下記のとおり市郎さんと市子さんのご夫婦と子ども1人（長女の特会^{とくえ}さん）の3人で構成されています。



夫：市郎さん
41歳の会社員



妻：市子さん
38歳の専業主婦



^{とくえ}
長女：特会さん
19歳の大学1年生
で、現在一人暮らし

^{とくえ}
特会^{とくえ}さんの名前の由来 ... 特定の事業の歳入・歳出を一般会計と区別するために特別^{とくえ}会計を設置できます。市では、平成16年度時点で国民健康保険などの5つの特別会計を設置しています。

なお、次の会話に出てくる金額は、平成16年度の市の決算額を人口（平成17年3月末：56,278人）で割ったものです。

3 ある日の会話

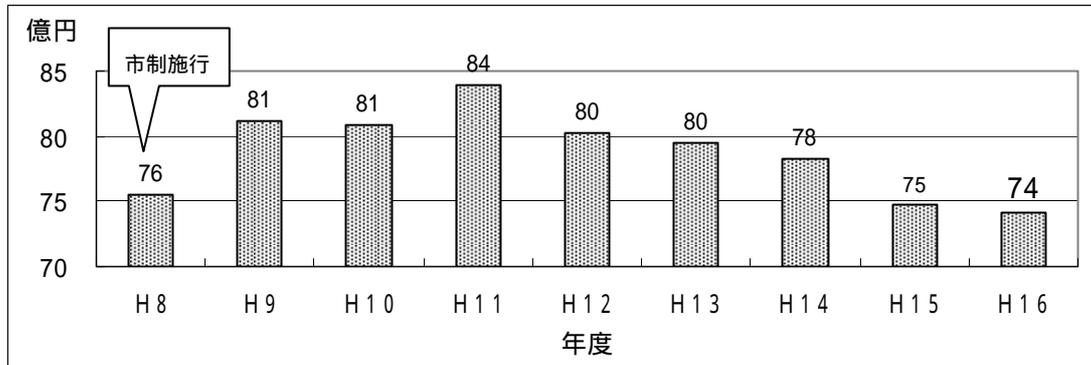
	最近、銀行口座に振り込まれるお父さんの給料の額が少なくなってきているわね。
	そうなんだ。うちの会社の給料は基本給（市税などの自主財源 ₁ ）と諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源 ₁ ）からなっているけど、景気が悪くて基本給は6か月前（平成11年度）から減り続ける一方 ₂ なんだよ。
	先月（平成16年度）の給料の内訳はいくらだったの？
	確か基本給（市税などの自主財源）は15万2千円、諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源）は15万6千円で、合計30万8千円だったな。
	その他に前の月（平成15年度）からの繰り越しが3千円、テレビを買ったり生活費に充てるために借金をしたのが5万8千円、それでも足りなくて貯金を8千円おろしたわね。つまり、我が家の先月（平成16年度）の借入金を含めた収入は、37万7千円になるわね。
	そうだね。ところで、さっき、言い忘れたけれど、今後諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源）も減らされてしまうんだ。
	どうしてなの？
	うちの会社は、今後諸手当（国・道支出金や地方交付税などの依存財源）を減らすかわりに、基本給（市税などの自主財源）を増やすという仕組みに変わったんだ ₃ 。ただ、増える額以上に減る額が多いので、結局給料の総額は減ってしまうんだよ。
	ええ、そうなの？ それじゃ、うちもお金の使いみちをもっと真剣に考えなきゃね。
	うん、そうだね。それには、何にどのくらいお金をかけているか知る必要があるな。ところで、先月（平成16年度）の我が家の家計はどうなの？
	ちょっと待って。家計簿を見るから。えーと、食費（人件費 ₄ ）が6万1千円、教育費・医療費（扶助費 ₄ ）が3万7千円、ローン返済（公債費 ₄ ）が4万9千円、光熱水費（物件費 ₄ ）が4万2千円、家の修繕費（維持補修費 ₄ ）が1万5千円、サークル等各種会費（補助費等 ₄ ）が5万5千円、特会への仕送り（繰出金 ₄ ）が3万7千円、テレビの購入（建設事業費 ₄ ）が7万円、貯金（積立金 ₄ ）が1千円、株式投資（投資及び出資金 ₄ ）が9千円で、合計で37万6千円だったわ。
	それじゃ、先月（平成16年度）は1千円の黒字だね。

1 自主財源と依存財源

自主財源とは、市税、使用料・手数料、諸収入など、市がみずから直接調達できるお金のことであるのに対し、**依存財源**とは、国庫支出金、道支出金、地方交付税などのように、国や道などに依存している財源をいいます。

2 市税の推移

自主財源の大部分を占める市税は、市が自主的にまちづくりを進めるうえで、重要な役割を果たしていますが、平成11年度の84億円をピークに**減少し続けています**。



3 三位一体の改革

平成15年から始まった、「国庫補助負担金の廃止縮減」、「国から地方への税源移譲」、「地方交付税の見直し（総額削減）」の3つの改革を一体的に進める「三位一体改革」は、昨年「4兆円程度の国庫補助負担金改革、3兆円規模を目指した税源移譲」が達成されました。

4 人件費、扶助費、公債費？

市の支出を性質別に分類したときに用いられる経費が、人件費、扶助費、公債費などです。

これらの用語は、家庭においては普段使われていないものが多いことから、「いしかりの家計簿」では人件費を食費、扶助費を教育費・医療費、公債費をローン返済などのように置き換えています。

なお、人件費などの説明は次のとおりです。

経費区分	内 容
人 件 費	職員の給料や手当及び議員報酬などの経費。
扶 助 費	社会保障制度の一環として、生活困窮者、児童、老人、心身障がい者などを援助するための経費。
公 債 費	借入金の元金や利息を支払う経費。
物 件 費	消耗品や旅費、公共施設の運営などの経費。
維持補修費	公共施設の補修や道路の除雪などの経費。
補助費等	様々な団体などへの補助金、ごみ処理や消防など市町村等の事務の一部を共同で処理するために設立された組合への負担金などの経費。
繰 出 金	国民健康保険事業や下水道事業などの特別会計に支出する経費。
建設事業費	道路、公園、学校等の公共施設を建設するための経費。
積 立 金	収支不足を補てんする基金や、公共施設の建設など、特定の目的のための基金への積立金。
投資及び出資金	財団法人などへの出資などのための経費。

	それは見た目だけの話よ。実際は貯金を取り崩して収支を合わせているんだから。 とにかく支出を抑えるために、数ヶ月前（平成14年度）からいろいろやりくりをしていたのよ。
	どんなこと？
	まず、家のローンをこれまでより安いものに借り換えたことで、8千円。その他に、食費（人件費）の切り詰めで5千円、 光熱水費（物件費）の節約で7千円など、合計2万5千円節約したのよ。
	ヤッター。2万5千円も節約できたのかい？ それじゃあ、そのお金で、先週オープンした素敵なレストランに行って食事しようよ。それから…。
	何を言っているのよ、お父さん。それは駄目。 これからも家計は大変なのよ。給料は減らされるようだし。 それと、最近の赤字続きで <u>うちの貯金はほとんどない</u> し、生活費に充てるための借金もあるので、家や車など高額な買い物は控えていても、 <u>借金の残高は50万円</u> からなかなか減らないのよ。
	そうか。給料が減らされるだけでなく、貯金もないのか。
	そうなのよ。だから、これからはもっと生活を切り詰めないとだめだと思うの。お父さんも一緒に知恵を絞ってほしいな。
	うーん、とりあえず、 <u>借金で購入するものは必要最低限なものだけ</u> にしようよ。それも、月々支払い可能な範囲でね。
	そうね。うちの庭の手入れもこれまではあなたの仕事の関係で頼むところが決まっていたけど、 <u>今度からは少しでも安いところにする</u> わ。
	そんなにうちの家計が苦しいのなら、私にも何かできることはないのかしら。大学を中退して働いてもいいのよ。
	それはだめよ。学費のことは何とかするから。そうね。生活費ぐらいは全部アルバイトで賄ってもらえれば助かるわ。
	わかったわ。これから <u>アルバイト先を増やすだけでなく、生活費をもっと切り詰める</u> わ。
	すまないな、特会。
	いいのよ。家族みんなで協力し合わなきゃね。

5 合計2万5千円の節約？

石狩市では、健全な財政運営を確保するため、平成14年8月に「石狩市財政構造改革方針」を策定し、これまで様々な取り組みを行ってきました。この結果、平成17年度予算と、取り組み前の平成14年度予算を比較して、約14億3千4百万円の削減効果がありました。

- | | | |
|----------------|-----|-----------------------------------|
| (1) 家のローンの借り換え | 8千円 | 市の借金を低利なものに借り換えて
4億8千万円の削減 |
| (2) 食費の切り詰め | 5千円 | 特別職及び一般職の給料及び手当を見直して
2億9千万円の削減 |
| (3) 光熱水費の節約 | 7千円 | 日当の廃止など旅費制度をはじめとする経常
経費の見直し |
| (4) その他 | 5千円 | 補助金の削減など |

6 うちの貯金はほとんどない？

家庭における貯金を市では基金と呼んでいます。その種類には年度間の財源の不均衡を調整するための財政調整基金、地方債の元利償還金の財源に充てるための減債基金、庁舎を建設するなど特定目的のための基金があります。

これまで積立をしてきた基金も平成9年度以降の歳入不足による取り崩しにより、財源不足を補う基金はすでに底をつきました。

7 市民1人当たりの借金残高？

地方全体の財政状況の悪化に伴う財源対策などにより、市の借金は大幅に増加しました。平成16年度末における残高は290億円を超え、市民1人当たりになると約50万円にもなります。このため、今後さらに将来の借金返済額に留意しながら財政運営を行うことが必要です。

8 財政構造改革における取り組み事項

市では、全ての行政分野における16項目の懸案事項について、今後取り組むべき内容をまとめ、平成15年11月に石狩市行政改革懇話会へ提出し、熱心な議論を重ね、平成16年3月に提言書をいただきました。

また、平成16年7月には「いつまでに何をやるか」、「迅速な対応が不可欠」との懇話会の提言主旨を尊重し、行動計画などを明記した16項目の取り組み事項を定めました。

- (1) **ローンで購入するものは必要最低限なものだけ** 市債残高を減らすには、元金返済額より新たな借入額を少なくすることが必要です。このため、財政構造改革期間中(平成15~16年度)の市債発行枠を10億円(交付税算入100%の減税補てん債等を除く)に設定していますが、17年度以降も、市債発行枠を5ヵ年で50億円に設定します。
- (2) **今度からは少しでも安いところにする** 公の施設の管理が、平成15年9月の制度改正で民間事業者の参入が可能となりました。これを受け、石狩市では民間能力を生かした「指定管理者制度」を導入しており、経費の削減に効果を上げています。
- (3) **アルバイト先を増やすだけでなく、生活費をもっと切り詰める** 下水道や国保などの特別会計は、一般会計とは別に独立経理を行うために設けられたものであり、収支不均衡など特に改善が必要な会計については、健全化に向けた運営方針を定めるなど、事務事業の効率化や支出額の抑制、また会計独自財源の収納確保や適正化などに取り組みます。

4 おわりに

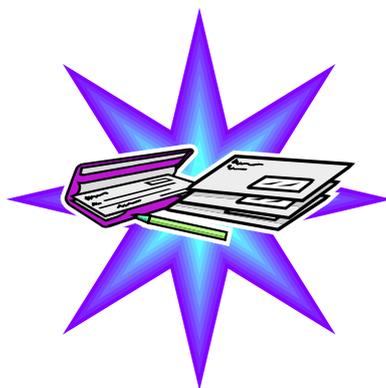
平成16年2月から発行している「いしかりの家計簿」を更新しましたが、内容については説明が不十分な点多々あることと思います。また、できるかぎり難解な用語を使わないよう努めたつもりですが、まだまだわかりにくい用語もあるものと思います。

また、給料や食費などの金額は、すべて石狩市の平成16年度決算額を平成17年3月末現在の人口で割った金額を用いているため、実際の家庭における家計簿とはかけ離れているかもしれません。今後、さらに創意工夫を重ね、内容の充実に努めてまいりますので、お電話やFAX、Eメールなどで「いしかりの家計簿」を読んでのご感想をお聞かせ願いたいと思います。



なお、市の財政状況をさらに詳しくお知りになりたい方には、この度同時に発行いたしました「石狩市の財政 2005」も併せてお読みいただきたいと思います。

最後になりますが、この小冊子が、市民の皆さんに石狩市の財政状況をご理解いただくための一助となっただけであれば幸いです。



発行：平成18年3月

編集：石狩市企画財政部企画財政課

TEL：(0133)72-3154

FAX：(0133)75-2275

E-mail：zaisei@city.ishikari.hokkaido.jp

〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30番地2

